

藝文いちかわ

市川市芸術文化団体協議会は、市内における各種芸術文化団体相互の協力と理解を深めるとともに、市川市の技術文化の振興に寄与することを目的とする。



ご挨拶

市川市芸術文化団体協議会名誉会長
市川市長 大久保 博

平成二十三年度「藝文いちかわ」の発行、心からお喜び申し上げます。市川市芸術文化団体協議会加盟団体の皆様におかれましては、日頃より、本市の芸術文化の振興に多大なるご尽力をいただいておりますことを深く感謝申し上げます。

市川市芸術文化団体協議会は、各種芸術文化団体の相互協力と理解を深めるとともに、本市の芸術文化の振興に寄与することを目的として昭和49年に結成されました。以来、身近に芸術や文化に親しむことで、市民が心にゆとりや豊かさを得ることのできるよう、様々な自主的創作活動に取り組まれるなど、本市における文化団体の中心的な役割を担っていただいております。これもひとえに会員の皆様の日頃のご活躍の賜物であると心より敬意を表します。

本市は、豊かな歴史と文化資源に恵まれ、多くの芸術家や文化人が在住し、数々の作品の舞台となってきました。そして、このような文化的要素を背景に多くの市民が芸術文化活動に励まれていることが、本市の大きな特色ともなっております。今後も、芸術文化の普及と発展を通じ、本市が目指す「彩り豊かな文化と芸術を育むまち」の推進にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、白倉会長をはじめ市川市芸術文化団体



ご挨拶

市川市芸術文化団体協議会
会長 白倉 道代

協議会の益々のご発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

この度の文化集会の基調講演とパネラーをお願いするために、九月には旭市、十月には大槌町を訪問させていただきました。そこで目にしたもの、家の土台だけが残っていて、何も無いという光景です。ただ瓦礫の山が続くばかりでした。堤防が寸断されたのか、大きなコンクリートの塊がころがっているのを見て、すさまじい自然の猛威を思い知らされました。圧倒的な不可抗力によって、家や車、そして大切な家族や友人、団欒や希望までもあの濁流が飲み込んだのかと思うと、私は茫然自失、言葉が出ませんでした。

こんな時、芸術や文化が何の役にたつのだろうか。私と私の心の中には一抹の迷いがありました。しかし、基調講演をお願いする佐々木様とのお話の中で、「こんな瓦礫の中を毎日学校へ通っている子供たちにこそ、読書が必要なのです。芸術や文化が絶対に必要なんです。」というお言葉を聞いて、私は背中をピシッと叩かれた思いでした。確かに、芸術文化を通して人の心に夢や希望が芽生えるとしたら、それは大きな生きる力となるでしょう。私たちも被災地の皆様と共に、復興という長い道程を歩いていきたいと思えます。

新しく参加された団体からの

メッセージ

詩(うた)の翼に調べをのせて

あずさ企画 北峰 聖

作詞家は表に出るべきではないとしていたのですが、去る九月二五日の音楽会はわたくしの作詞した歌曲の発表会なので挨拶に壇上に立ち、歌詞集「詩(うた)の翼」とプログラムにプロフィールを乗せました。

今までにない異質なものでしたが、大勢の方々に支えられ大成功でした。想定外だったのは大勢集まりすぎて椅子を追加しても足りなかったこと。「超感動」ではアンコールの声が一つも聞かれなかったこと。

翌日は電話が鳴りっぱなし、完璧・感激・深みがある・リッチ・経験したことがない、一番多かったのは「感動した」でした。主催者でないホテルにまで次回の問い合わせが。

出演者・裏方合計六三名一つになって本番がずば抜けて良かったのは私もびっくり、作詞家は翼にのって何処かに消えた感じ、だから感動の渦が巻き起こったのかと思う。

美の世界 癒しの空間オープン

日本アートギャラリー 及川 扇翠

美の世界 癒しの空間として、絵画(日本画 油彩 水彩 墨彩 水墨 パステル等)彫刻、工芸、書道、華道、写真等芸術的な作品展示の貸しギャラリーとして、二〇〇八年十二月二十三日にオープン致しました。オーナーも毎年海外で個展をしており、作家目線で個展・グループ展・企画展の手助けや海外の作家や音楽家とのコラボレーション・二〇インテュスクリーンを使用し、映像等でパリエーションに富んだ展覧会を開催して居ります。主催で美術二十人展も公募し、一、四、五、九、十、十一、十二月の年七回開催して居ります。今後は若い作家の発掘にも力を入れ、芸術発展に寄与出来ればと考えて居ります。誠意と情熱で、一人でも多くの方に温かい思いを届けたい。感謝を込めて。

◎年内の予定

開催時間 11時～18時(日曜16時)

月曜休館

十一月一日～十三日

戸田和夫日本画個展 市川美術会常任理事

十一月十五日～二十七日

第三回彫刻美術展企画 日展参事堀豊之他

十一月二十九日～十二月四日

斎藤君子日本画個展 市川美術会理事

十二月六日～十一日

イタリア人画家 アントネットロ メッシーナと書展

十二月十日(土) 二時～二時三〇分

木村珠美コンサート

十二月十三日～二十五日

第2回樫の木美術展(絵画工芸)

十二月二十二日 臨時休館

十二月二十三日(金) 二時～三時

川口 幸子 (ピオラ)

佐伯 かほる (ピアノ)

野崎 玲子 (バイオリンコンサート)



中山街回遊展にて

圭鳳流 藤本 鳳葉

秋晴れに恵まれ、中山街回遊展、蓮行事、野点席には多勢のお客様がいらして下さいました。お寺の緑に囲まれ、ゆっくりと一服のお茶を飲んでいただけだと思います。

当日は、四中の茶道部の生徒十五名が参加して、とても和やかでスムーズに百三十名のお客様を接待でき、地域の方々にも、中学生のお運びしている姿がほほえましいとお声をかけていただきました。生徒たちも地域の方々とうれあいができ、とても喜んでいました。



私も圭鳳流は、家天（伏見誓寛尼）は、京都の得浄明院、三時知恩寺、大阪の和光寺と三つの寺の住職で、徳川慶喜公の曾孫にあられる方です。日々、心の鍛練、修行の場として、茶道をご指導下さり、楽しくお稽古させていただいています。

市川芸文協のお仲間に入れていただき、これから益々精進して、日本文化を少しでも広めて行きたいと思っております。皆様のご指導宜しくお願ひ申し上げます。



バス研修



港の風〜横浜を訪ねて〜

汗ばむ陽気となった九月三十日、バスは横浜に向いました。

横浜美術館にて現代アートの国際展である「ヨコハマトリエンナーレ2011」を鑑賞。十年目となる今回は「みる、そだてる、つなげる」をテーマに開催されていました。

館内では国内外で活躍する現代美術家の作品や、横浜美術館所蔵の作品などが展示されていました。約一時間半の短い時間の見学でしたが、奇抜な発想の手法など、新しいアートの展開を堪能しました。

昼食は中華街で賑やかに飲茶でリラックス。会員の談笑する声、中国茶のかおり、などで和やかな宴席となりました。昼食後は山下公園を散策、中華街でショッピング。それぞれに楽しんだ一日でした。

市川市花道協会 野口 春和



今 思う事

市川三曲協会

私共、三曲協会はこれまで伝統ある古典芸能に魅せられ、その研鑽に励み、毎年欠かさず事なく発表会を行って参りました。

しかしながら回を重ねるごとに会員の高齢化とともに、会のマンネリ化が否めなくなりました。ところが ある会で三曲の間に民謡を入れたところ、御客様の目の色が変わり、会そのものが盛り上がったのです。

芸文協には高い技能を持つ方が沢山いらっしゃいますが、皆様、それぞれの芸のみを発表されている様に思います。

お客様にとって同じ会場で様々な催しに接する事が出来たら、どんなに素晴らしい事でしょう。その要望に応えられるのは芸文協しかありません。年に一度くらいは会員同士の交流を兼ねてお客様に喜んで頂けたら、芸文協そのものの発展にもつながるのではないのでしょうか。

難問は有るものの、同様の考えをお持ちの方々、は、けっして三曲協会だけでは無いと思いますが、如何でしょうか。

(宮本 誠子)

公募展 開催される

市川市手工芸連盟

市川市手工芸連盟の年間計画の一つとして、公募展がございます。今年度の第二十一回市川市手

工芸公募展を文化会館にて九月十四日より十八日まで、おかげさまをもちまして無事終了することができました。

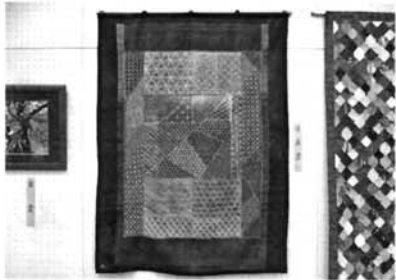
市長賞、教育長賞、芸文協賞、連盟賞、審査員賞、金賞、銀賞、銅賞、努力賞、佳作賞等、市長様はじめ御来賓の御出席の許、表彰式も無事終わりました。入場者数一三三七名。

今年度はインターネットによる出展申込みを導入しましたところ、作品が多様になり、新しい感覚を示したものが、ユニークさを表現したものと、今までにない作品が多く見られました。

市川市からも色々とお世話になり、この様な楽しい手工芸展が毎年行われますことに理事長(益子智彦)初め会員一同も心より感謝いたしております。会として内容もますます向上出来るように努力し、皆様の出展を心よりお待ちしております。

(鍛持 光子)

◎市長賞作品



◎芸文協賞作品



語りつごう! 市川の民話

市川民話の会

市川民話の会では、これまで掘り起こしてきた民話を、市民の誰もが一つでもいいから次の世代に語り継いでほしいと願っています。

ここ数年、小・中学校や地域団体からの要請が増え、会員が出向いて民話を語ることが多くなってきました。そこで、語り手の育成に力を入れようと、今年度上半期は「語り継ごう!市川の民話」をテーマに、連続的な活動をすすめてきました。

六月の中央公民館主催の三回連続講座、その後二回のステップアップ講座、八月二十九日は市内三団体をお招きしての「民話の語りを学ぶ会」、そして講座受講生も語り手として参加した九月の回遊展in八幡での「民話の語りを聴く会」(市川市文化祭参加)と、三ヶ月間に亘って、会員以外の方々との交流を進め、十月の中山街回遊展では「和の会」と語り朗読のコラボも行ないました。どの会も予想以上の参加者でにぎわいました。

現在は『市川のむかし話』改訂版を今年度刊行に向け、準備を進めている最中です。

(小林 路子)



とどけ！ 歌の力♪ つなげよ！みんなの心♡

市川市合唱連盟

三月十一日の東日本大震災をはじめ度重なる自然災害に次々見舞われた日本列島でした。時間の経過と共に人の気持ちや状況は変化します、被災された人々の状況は今の様になっているのでしょうか。一日も早くもとの生活に落ち着かれることを願うばかりです。

市川市合唱連盟は、八月二十八日、文化振興財団主催の「吉里吉里」支援チャリティコンサートに協力いたしました。協力頂いた出演団、指導者の先生方、お客様のお気持ちを文化振興財団に支援金として寄付し、大槌町に届けることも出来ました。

合唱連盟には五〇あまりの合唱団が加盟しそれぞれ独自の活動を展開しています。最近では合唱も高齢化の傾向にあり、元気な歌声、楽しそうな演奏のシルバークラブには心から応援と拍手を送ります。

十一月十二日、十三日の二日間、第三十三回市民合唱祭が、市内の小中学校合唱部四校の特別出演やマリンバのゲスト演奏を含め、平素の練習の成果を演奏し合い、多数のお客様をお迎えして開催致しました。今年度は特に、「とどけ！ 歌の力！ つなげよう！ みんなの心」とし、亡くなられた多くの方々のご冥福と被災地の日も早い復興を願って、合唱活動の出来ることに感謝し、出演者全員での「ほほえみ」の大合唱で終えることが

出来ました。人々に感動や元気を届けられる「歌の力」を実感する合唱祭となりました。

(酒井 玄枝)



ガラ・コンサートを終えて

市川オペラ振興会

二〇一一年九月二十五日に、市川オペラガラ・コンサートが開催されました。今年は、東日本大震災が三月に起きました。市川オペラ振興会は、微力ではありますが、少しでもお役にたきたいと、(震災に思いを寄せて)このコンサートを開催させていただきました。

多くの皆さまにご来場いただきまして、感謝を申し上げますとともに、歌手をはじめ、オケやピアノのキャスト、舞台スタッフがひとつとなりまして、大変喜んでいただける公演となりました。

主な演奏曲目は「椿姫」「カルメン」「蝶々夫人」「カヴァレリア・ルステイカーナ」等のオペラや、スタバート・マーテル、日本の歌、「ちゃんちき」、世界の歌、「メリー・ウイドー」とバライティーにとみ、最後のアメリカン・グレイスは、高らかにご来場の皆さまと歌われました。

また、当日義援金箱を設けさせていただきました。ご協力心より御礼申し上げます。

(木村 珠美)

♪ これからの活動情報 ♪

- ◆市川市洋舞踊合同公演
12月18日(日) 16:00～18:30
市川市文化会館大ホール
- ◆市川交響楽団
「ファミリー交響楽コンサート」
12月4日(日) 14:00～16:00
- ◆市川市写真連盟
12月21日(火)～25日(日)
市川文化会館地下展示室
- ◆第67回いけばな展(市川市花道協会)
平成24年3月2日(金)～5日(月)
市川市文化会館地下展示室・大会議室



市川市オペラガラコンサート

第18回 市川市芸術文化集会

「大震災一年後の今」 ～ “生きる” をささえる芸術文化のちから～

●基調講演 「大震災一年後の今」

講師 佐々木 健氏 (岩手県大槌町教育委員会生涯学習課長・図書館長)

●シンポジウム「“生きる” をささえる芸術文化のちから」

コーディネーター 酒井 玄枝氏 (市川市合唱連盟会長)

パネラー 藤田 沙知代氏 (チーム・ピースレンジャー事務局)

土屋 金司氏 (版画家 千葉県旭市在住)

菊地 俊輔氏 (市川市文化振興財団 岩手県出身)

出演：市川市立第二中学校合唱部

平成24年2月11日(祝・土)

市川市文化会館 大会議室

12:45開場 13:00開演

主催 市川市芸術文化団体協議会 共催 市川市文化振興財団

後援 市川市／市川市教育委員会

市川市芸術文化団体協議会参加団体

市川市花道協会

市川オペラ振興会

市川市交響楽団協会

市川市手工芸連盟

市川三曲協会

市川市写真連盟

市川民話の会

あずさ企画

市川市合唱連盟

日本アートギャラリー

市川市洋舞踊協会

茶道狭霧会

編集・発行 市川市芸術文化団体協議会 広報委員会 (小林)

事務局 〒271-0097 松戸市栗山171-2 星方

HP <http://www.geibun.net>